調査の概要

１．調査の目的

区民の港区独自の自主的な取り組みへの評価や意見、及びニーズを把握し、今後の区政運営方針に活用することを目的とする。

２．調査の地域

名古屋市港区の全域

３．調査の対象、数

区内居住の１８歳以上の男女２０００人（外国人含む）

４．調査対象抽出方法

無作為抽出法

５．調査方法

通達員配布後 郵送回収法

６．調査期間

令和３年５月１４日（金）～ ６月４日（金）

7. 回収数

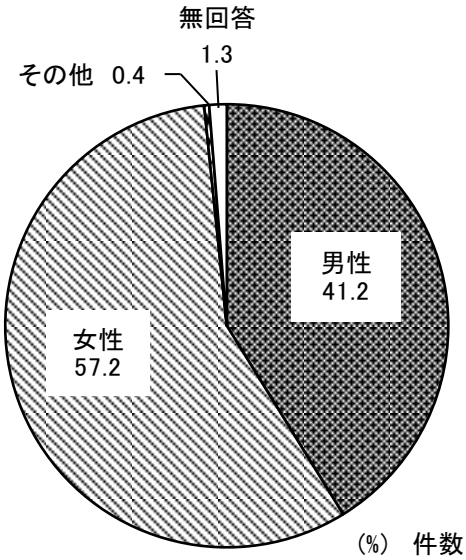
５５１人（２７．６%）

調 査 の 結 果

1　対象者の属性

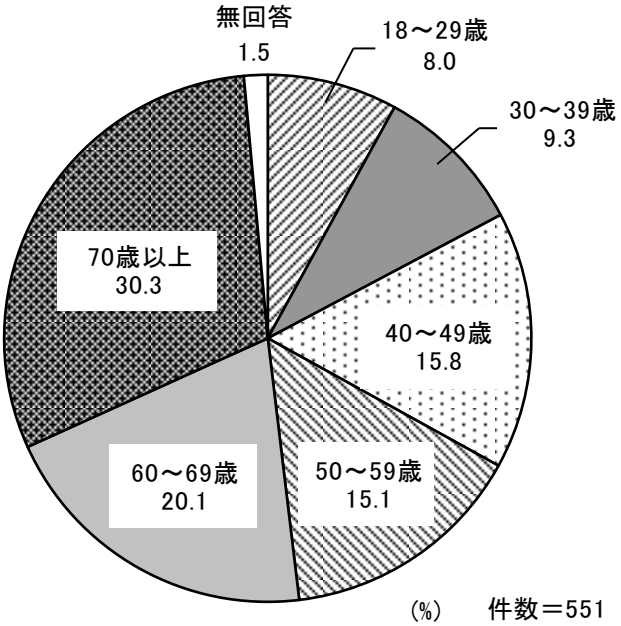
質問１ おそれいりますが、あなたご自身について、お聞かせください。
（該当する番号を○で囲んでください）

■性別



（%） 件数＝551

■年齢



（%） 件数＝551

■居住学区

（件）

東築地	中川	東海	成章	大手	港西	稲永	野跡	小碓	正保	明徳	当知	西築地	港楽	高木	神宮寺	南陽	西福田	福田	福春	無回答
27	16	15	20	41	29	28	8	34	27	25	37	19	30	23	19	59	32	37	12	13

２．区政運営方針について

２－１　区政運営方針の認知

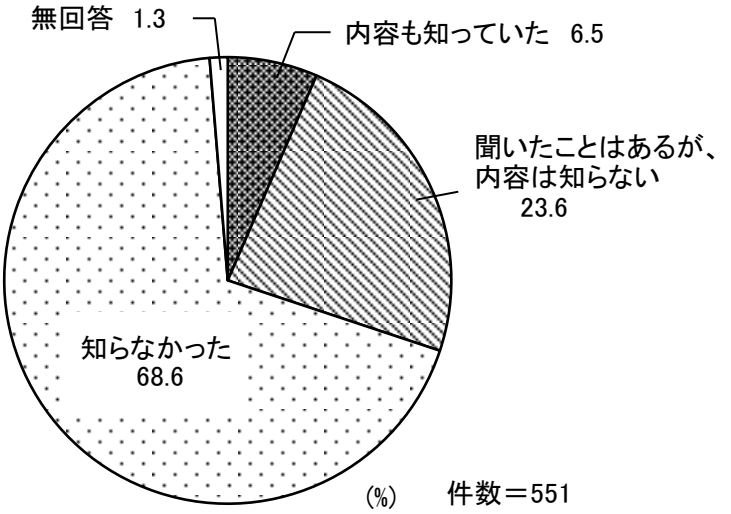
○　「港区区政運営方針」の認知については、「内容も知っていた」は 6.5％であり、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が 23.6％で、合わせて 30.1％と 3 割が認知している。

一方、「知らなかった」は 68.6％で 7 割となっている。

質問２ 区政運営方針について、次の設問にお答えください。（該当する番号を○で囲んでください）

港区では、令和２年度に「港区区政運営方針」を策定し、『「信頼」と「安心」を高め、暮らしやすいまちづくり』を実現するための取り組みを行いました。

①「港区区政運営方針」をご存知でしたか？

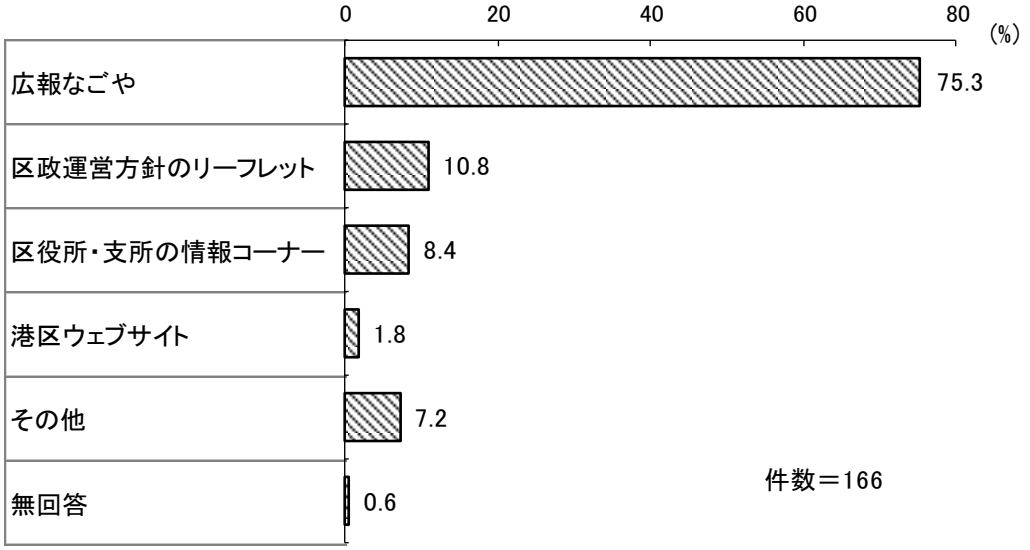


２－２　区政運営方針の認知経路

○　「港区区政運営方針」の認知経路としては、「広報なごや」が 75.3％と圧倒的に高く、以下、「区政運営方針のリーフレット」（10.8％）、「区役所・支所の情報コーナー」（8.4％）が、それぞれ１割程度となっている。

①で「１」又は「２」を選ばれた方におたずねします。

②　どのようなお手段でお知りになりましたか？



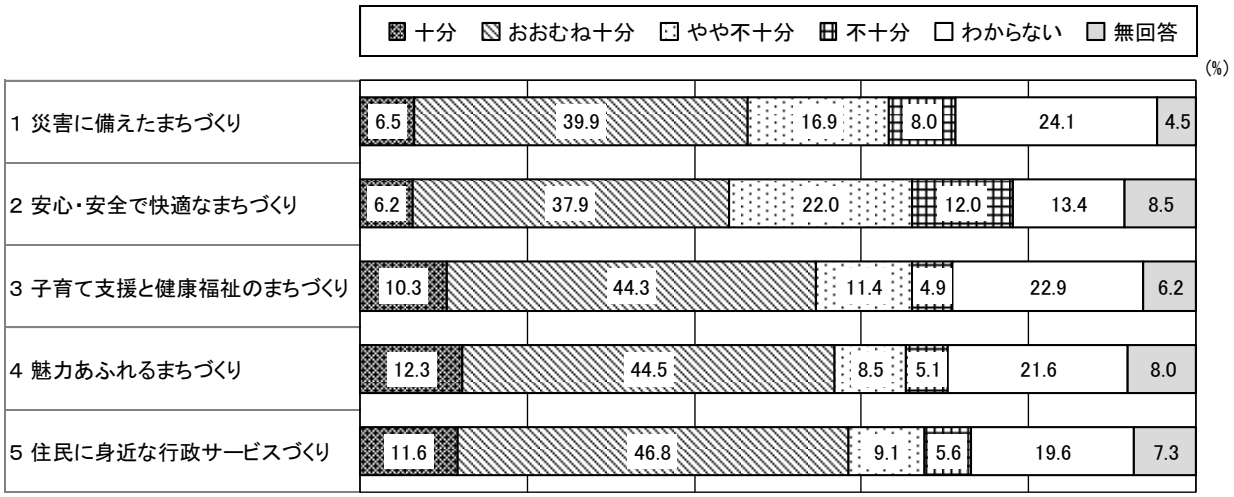
３．港区独自の自主的な取り組みについて

令和２年度の実施事業について

○　港区独自の自主的な取り組みの取組事項とその主な実績については、全項目とも「おおむね十分」の割合が 38～47%と最も多くなっている。「十分」を合わせた割合は、「５　住民に身近な行政サービスづくり」(58.4%) と「４　魅力あふれるまちづくり」(56.8%) については 6 割弱が充足していると評価し、「３　子育て支援と健康福祉のまちづくり」(54.6%)、「１　災害に備えたまちづくり」(46.4%)、「２　安心・安全で快適なまちづくり」(44.1%) についても、半数前後が充足していると感じている。

一方、「やや不十分」と「不十分」を合わせた不足していると感じる割合は、「２　安心・安全で快適なまちづくり」(34.0%) については 3 割以上、「１　災害に備えたまちづくり」(24.9%) については 2 割以上みられ、そのほかの３項目では 1 割台となっている。

質問３　港区役所では、経常的な業務のほか、港区独自の自主的な取り組みをしており、令和２年度は次の 1～5 の項目についてさまざまな事業を行いました。
次の各事業について「取組事項」とその「主な実績」をご覧いただき、設問にお答えください。
（該当する番号を〇で囲んでください）。



３－１．災害に備えたまちづくり

３－１－１．「取組事項」と「主な実績」の評価

○　災害に備えたまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「おおむね十分」（39.9%）が４割を占め、「十分」（6.5%）を合わせて 46.4%と半数弱が充足と感じている。一方、「やや不十分」が 16.9%、「不十分」が 8.0%で、合わせて 24.9%と２割強が不足と感じている。また、「わからない」が 24.1%となっている。

１ 災害に備えたまちづくり

取組事項（主な実績）

＜災害対応力の向上＞

①災害対応力の向上

（日ごろから訓練、研修等を行うことにより発災時に迅速な初動対応ができるようにする。）

＜地域課題に応じた主体的な防災活動の支援＞

② 地区防災カルテを活用した防災活動の推進

（地区防災カルテ※を活用した防災活動に取り組んでいる学区の割合　100%）

③ 「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくり

（「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくりに取り組んだ学区の割合　30%）

④ 避難所開設・運営訓練及び障害者への配慮の支援

（避難所運営訓練に取り組んだ学区の割合　100%）

⑤ 災害時健康サポーター養成及び育成 （災害発生時に避難所の「こころとからだ」や衛生環境に配慮できる健康サポーターを育成する講座　参加者数 18 名）

※地区防災カルテ…地形や災害リスクなどの地域特性や地域の防災活動状況など、地域防災に関する情報を学区毎に整理したデータベース

＜自助力向上の促進と防災意識の啓発＞

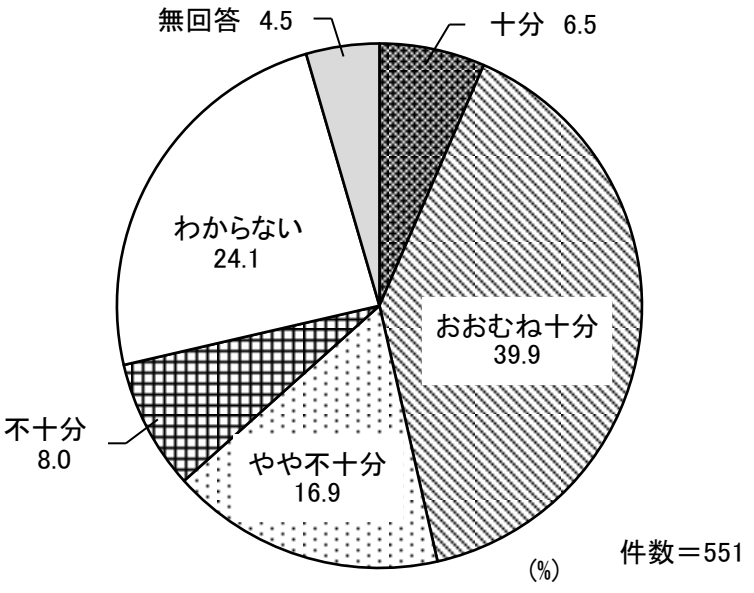
⑥ 自助力の向上・防犯意識の啓発

（寝室の家具等に転倒防止対策を行っている区民の割合　58.1%）

⑦ 港区防災のつどい （過去の災害から学ぶ、防災に関する講演会の実施　参加者数　62 名）

⑧ 妊婦･乳幼児の親に対する防災教育の充実（妊婦､乳幼児の親の非常持ち出し品備え率　26.8%）

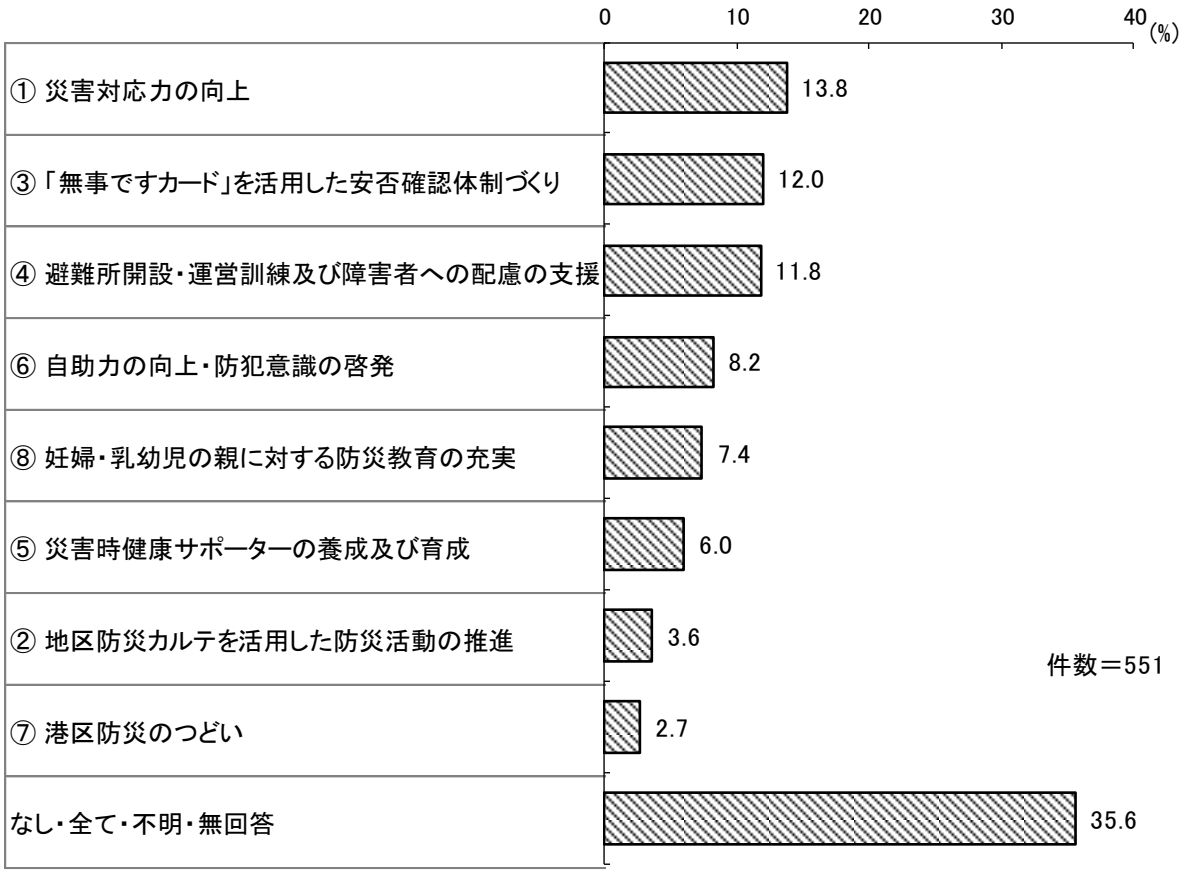
この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



３－１－２．さらに力を入れる事業

○　災害に備えたまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「① 災害対応力の向上」が 13.8％で最も高く、以下、「③ 「無事ですカード」を活用した安否確認体制づくり」(12.0％)、「④ 避難所開設・運営訓練及び障害者への配慮の支援」(11.8％)が１割以上、「⑥ 自助力の向上・防犯意識の啓発」(8.2％)、「⑧ 妊婦・乳幼児の親に対する防災教育の充実」(7.4％)、「⑤ 災害時健康サポーターの養成及び育成」(6.0％) が１割弱で続いている。

前記、①～⑧の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号（１つ）とその理由をお書きください。



（注：複数回答あり）

３－２．安心・安全で快適なまちづくり

３－２－１．「取組事項」と「主な実績」の評価

○　安心・安全で快適なまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「おおむね十分」（37.9％）が 4 割近くを占め、「十分」が 6.2％で、合わせて 44.1％と 4 割強が充足と感じている。一方、「不十分」が 12.0％、「やや不十分」（22.0％）を合わせて 34.0％と、それぞれ５項目のうち一番多く、3 割強が不足と感じている。

２ 安心・安全で快適なまちづくり

取組事項（主な実績）

＜犯罪のないまちづくり＞

① 犯罪のないまちづくり（生活安全キャンペーン・自転車盗難防止キャンペーン、防犯灯のＬＥＤ化や防犯カメラの設置支援）
（主要罪種の認知件数　454 件（前年比 △58 件））

② 青少年の健全育成
（中学生による実践活動報告・講演会、子ども会行事・活動の支援　等）

＜交通事故のないまちづくり＞

③ 交通事故のないまちづくり
（交通安全キャンペーン、自転車安心・安全利用教室、交通安全総決起大会）
（交通事故死傷者数 652 人（前年比 △36 人））

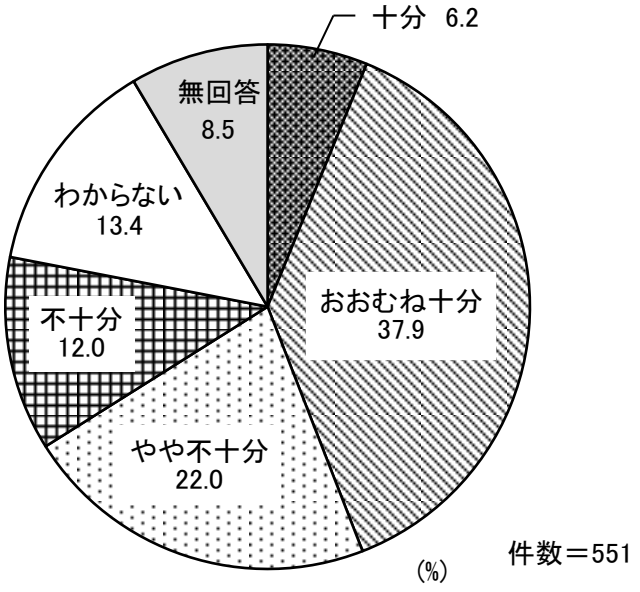
＜快適なまちづくり＞

④ 町を美しくする運動
（道路、公園などの清掃活動　空地清掃率 82%）

⑤ 管理が適切でない住居及び空き家対策の推進
（管理が適正でない空き家の所有者に対する助言・指導）

⑥ 人と犬猫が共生する快適なまちづくりの推進
（のら猫を地域で適正に管理する活動を行うなごやかキャット推進事業の認知度 11%）

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を〇で囲んでください）

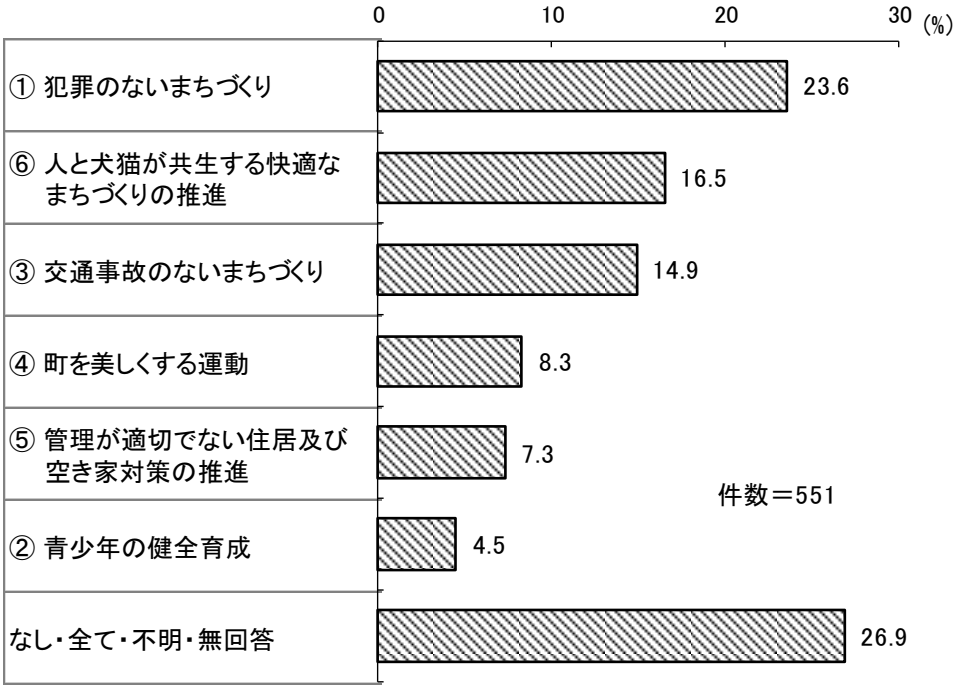


３－２－２．さらに力を入れる事業

○　安心・安全で快適なまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「① 犯罪のないまちづくり」」が 23.6％で最も高く、以下、「⑥ 人と犬猫が共生する快適なまちづくりの推進」（16.5％）、「③ 交通事故のないまちづくり」（14.9％）が、それぞれ１割台で続き、「④ 町を美しくする運動」（8.3％）、「⑤ 管理が適切でない住居及び空き家対策の推進」（7.3％）は１割弱となっている。

また、「なし・不明・無回答」の割合が 26.9％と５項目のうち一番少なく、区民のニーズが高い分野となっている。

前記、①～⑥の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号（１つ）とその理由をお書きください。



（注：複数回答あり）

３－３．子育て支援と健康福祉のまちづくり

３－３－１．「取組事項」と「主な実績」の評価

○　子育て支援と健康福祉のまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「おおむね十分」（44.3%）が 4 割強を占め、「十分」が 10.3%で、合わせて 54.6%と半数強が充足と感じている。一方、「やや不十分」は 11.4%で、「不十分」（4.9%）を合わせた 16.3%が不足と感じている。また、「わからない」が 22.9%となっている。

３ 子育て支援と健康福祉のまちづくり

取組事項（主な実績）※（中止＊）は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した事業です。

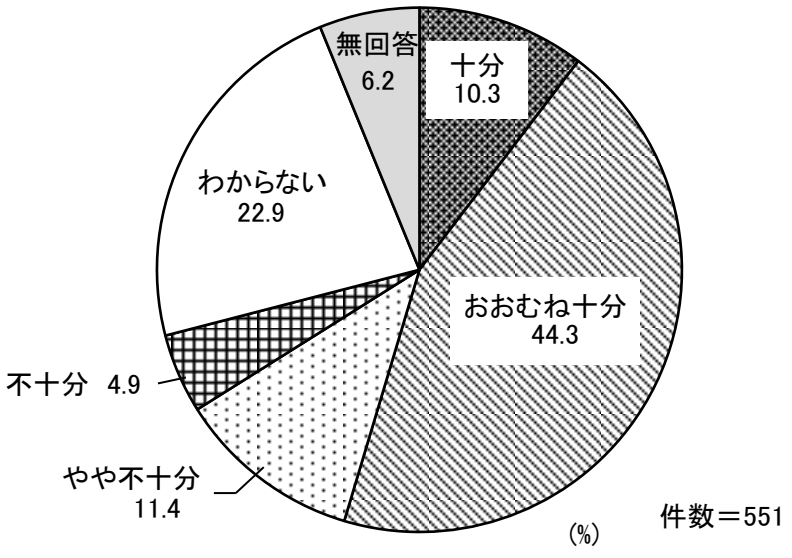
＜妊娠期からの切れ目ない子育て支援＞
- ① 妊娠期から子育て家庭への寄り添い支援（母子手帳交付時支援実施率　100%）
- ② 赤ちゃん訪問（生後４か月まで）（実施率 95%）
- ③ 赤ちゃん訪問（生後４か月から７か月まで）（対象者全員実施）
- ④ 学区子育てサロン（お母さんたちの交流の場　開催回数　－ 回）（中止＊）
- ⑤ 子育て情報の提供（ウェブサイト更新回数　22 回　シール配布枚数　1,400 枚）
- ⑥ 乳幼児に対するむし歯予防の啓発（３か月児健康診査対象者への啓発率　92%）
- ⑦ 保育案内人による子育て支援（学区子育てサロンへの出張回数　－ 回）（中止＊）

＜子どもを虐待から守る地域社会づくり＞
- ⑧ 児童虐待の防止（講座受講者アンケート満足度 100%）

＜高齢者が安心して暮らし続けられる地域社会づくり＞
- ⑨ 共生型サロン「陽まわり」の実施　（高齢者、子育て世代などの交流の場　実施回数　週１回）
- ⑩ 花づくりイベントの実施　（行事回数　－ 回）（中止＊）
- ⑪ 高齢者福祉相談員によるヘルプカードの活用支援（記入支援回数　７回）
- ⑫ 地域福祉活動の支援（地域コミュニティの世代間連携を実施）
- ⑬ 地域包括ケアシステムの推進～地域包括ケア推進会議　地域課題検討ワーキンググループ～（ワーキンググループの実施回数　２回）
- ⑭ 地域包括ケアシステムの推進～港区認知症になっても安心して暮らせる町をつくり隊～（「港区認知症になっても安心して暮らせるまちをつくり隊」　登録者数　46 人）
- ⑮ 港区役所いきいき高齢者プロジェクト（モデル実施か所数　６か所）
- ⑯ 港区役所愛護会（高齢者による区役所前花壇の整備や美化活動を実施）
- ⑰ 高齢者の健康づくり（いきいき教室拠点型のアンケート満足度　－ %）（中止＊）

＜障害者が自立して暮らせる地域社会づくり＞
- ⑱ 障害者の相談支援の充実（個々の相談者に寄り添った相談支援の実施）
- ⑲ 障害当事者参加型啓発活動「あなたと私の架け橋宅急便」（開催回数　１回）
- ⑳ 授産製品販売（展示）促進事業（「みなと一り」「みなと～り 南陽支店」出店事業所数　6 事業所）
- ㉑ 障害者就労施設等からの物品等の調達の推進（契約件数　50 件）
- ㉒ 港区ふれあい広場（障害者との交流イベント参加団体・施設数　－ 団体・施設）（中止＊）
- ㉓ ヘルプカード障害当事者作成・活用支援（当事者へのヘルプカード作成支援人数　185 人）
- ㉔ ヘルプカードの区民への啓発（学区イベント・各種会議における周知回数　１回）

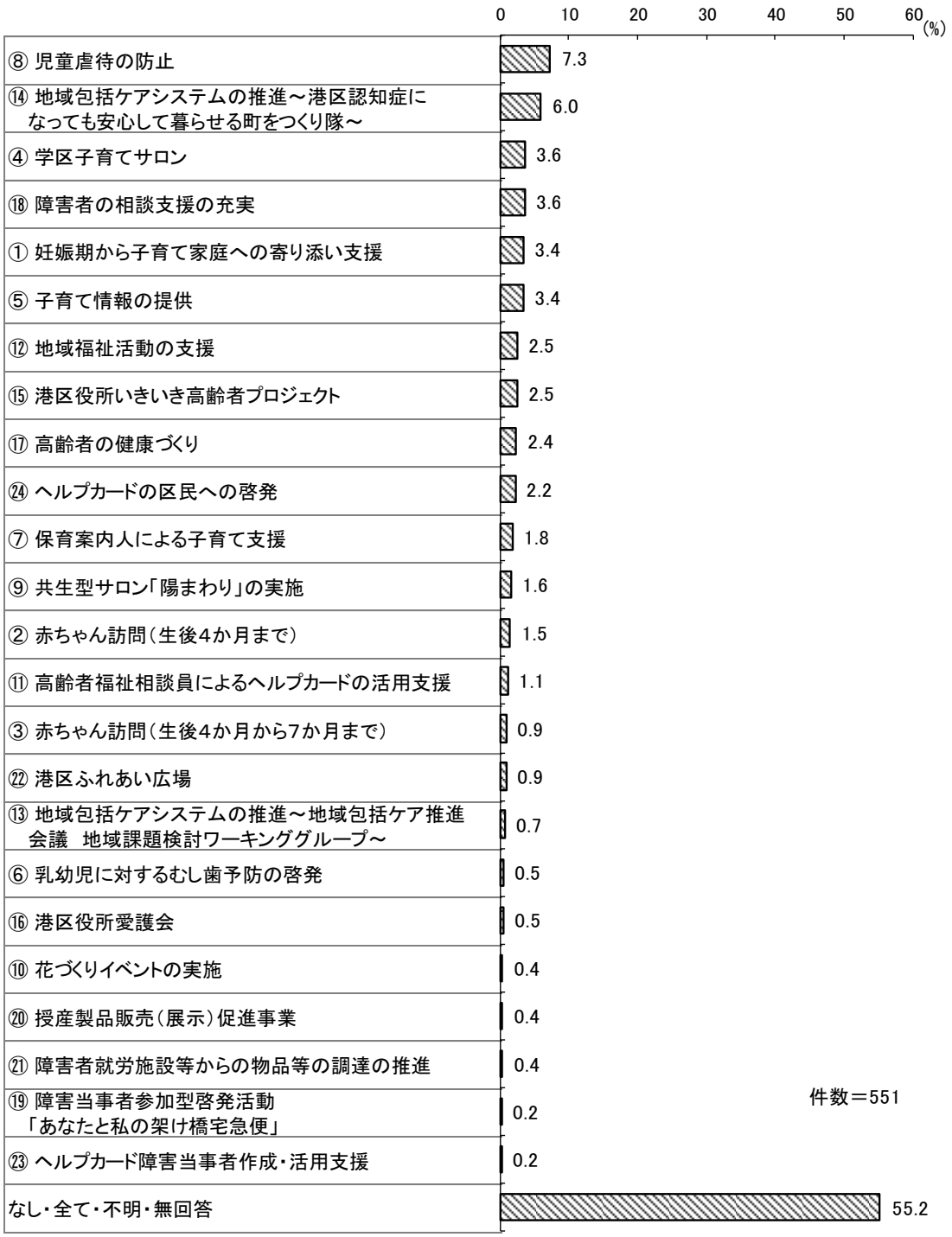
この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



３－３－２．さらに力を入れる事業

○　子育て支援と健康福祉のまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「⑧ 児童虐待の防止」(7.3%)、「⑭ 地域包括ケアシステムの推進～港区認知症になっても安心して暮らせる町をつくり隊～」(6.0%) が、やや高くなっている。そのほかの事業は、それぞれ 4%未満で、「なし・全て・不明・無回答」の割合が 55.2%と高くなっている。

前記、①～㉔の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号（１つ）とその理由をお書きください。



（注：複数回答あり）

３－４．魅力あふれるまちづくり

３－４－１．「取組事項」と「主な実績」の評価

○　魅力あふれるまちづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「十分」が12.3%と５項目のうち一番高く、「おおむね十分」が44.5%で、合わせて56.8%と、6割弱が充足と感じている。一方、「やや不十分」（8.5%）と「不十分」（5.1%）を合わせた不足と感じる割合は13.6%と、５項目のうち一番低く、区民の充足度が高い分野となっている。

また、「わからない」は21.6%となっている。

4 魅力あふれるまちづくり

取組事項（主な実績）※（中止＊）は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した事業です。

＜魅力向上・魅力発信＞

① 港区の魅力発信事業　（港区産の農作物などを使用したグルメを多団体の連携により制作・販売、社会見学事業等の実施、港区魅力発信パネルの制作・展示）
② 藤前干潟生き物観察会（アンケート満足度「満足」と「ほぼ満足」　100%）
③ 南陽の農業の情報発信・地産地消の推進
（南陽の農業の情報発信・地産地消のPR回数　11回）※SNS含む
④ 障害福祉サービス事業所の利用者による農作物収穫体験（実施回数　6回）
⑤ 田んぼアート10周年記念事業（中止＊）
⑥ ラムサール条約登録湿地藤前干潟プロムナード事業
（藤前干潟に臨む稲永公園及びその周辺をプロムナードとして整備）

＜区民まつり・南陽地域ふれあいまつりの実施＞

⑦ 港区区民まつり　（園児や小中学生の演奏、女性会の民謡踊り、伝統芸能の実演等）（中止＊）
⑧ 南陽地域ふれあいまつり　（伝統芸能の発表等）（中止＊）
⑨ 南陽さんぽ（南陽さんぽウォーキングイベント）（中止＊）

＜スポーツ・文化・社会教育活動の推進＞

⑩ 各種スポーツ大会（各種大会を開催・後援）
⑪ みなとフェスタ（文化芸術の作品展示や舞台発表　参加者数 － 人）（中止＊）
⑫ 区民美術展・短詩型文学展・子ども美術展
（出展者　333人、来場者　523人　※来場者は子ども美術展を除く）
⑬ 華道展（春・秋ともに中止＊）
⑭ 社会教育関係団体の地域活動の促進
（女性会主催の「環境バザー」「女性セミナー」、ＰＴＡの社会教育活動の支援）

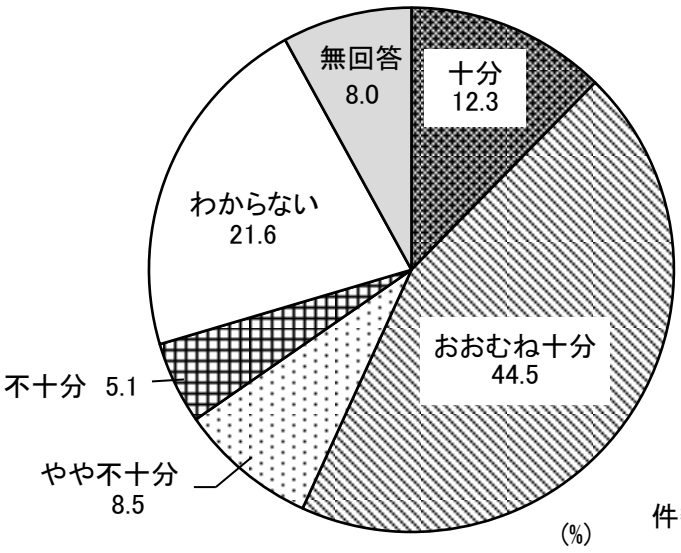
＜地域コミュニティの支援＞

⑮ 地域コミュニティの支援（地域コミュニティ交流会アンケート結果「たいへん良かった」と「良かった」　88%）

＜多文化共生の推進＞

⑯ 多文化共生推進事業（みなと国際交流のつどい参加者数　－ 人）（中止＊）

この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）

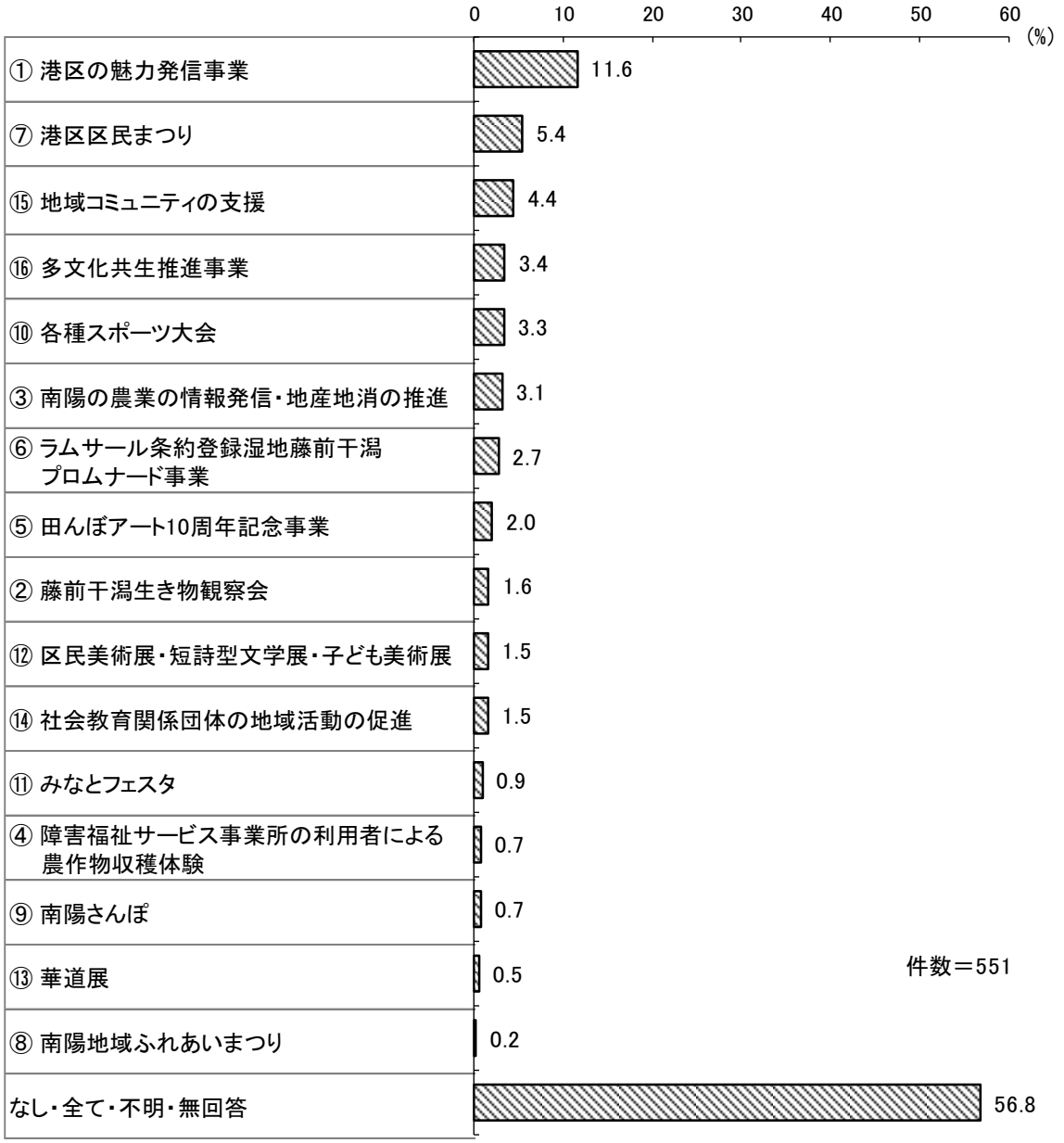


３－４－２．さらに力を入れる事業

○　魅力あふれるまちづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「① 港区の魅力発信事業」が 11.6%と最も高く、「⑦ 港区区民まつり」（5.4%）が 1 割弱で続いている。そのほかの事業で 5%に達するものはない。

また、「なし・全て・不明・無回答」の割合が 56.8%と高く、6 割弱を占めている。

前記、①～⑯の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号（１つ）とその理由をお書きください。



（注：複数回答あり）

３－５．住民に身近な行政サービスづくり

３－５－１．「取組事項」と「主な実績」の評価

○　住民に身近な行政サービスづくりについての取組事項と主な実績に対する評価としては、「おおむね十分」（46.8%）が半数弱を占め、「十分」が 11.6%で、合わせて 58.6%と５項目のうち一番高く、6 割程が充足と感じている。一方、「やや不十分」（9.1%）と「不十分」（5.6%）を合わせた 14.7%が不足と感じている。

また、「わからない」は 19.6%となっている。

５ 住民に身近な行政サービスづくり

取組事項（主な実績）

＜区民サービスの改善・拡充＞

① 接遇満足度 100%の区役所づくり
（窓口アンケート満足度　「とても満足」と「満足」 92.6%）

② 職員研修の実施　（接遇研修等の実施）

③ 窓口案内職員の配置　（対応件数 132,202 件）

④ 障害福祉窓口の一元化
（福祉サービス関係業務を区役所福祉課および支所区民福祉課に一元化）

⑤ フロア案内表示の充実　（福祉課・民生子ども課フロアの入り口に保険証や封筒などの例をパネルで掲示し、目で見てわかる案内表示を行う）

⑥ 土木事務所との連携　（各種相談窓口の連携など、迅速かつ効率的な窓口サービスの提供）

⑦ 広報の充実　（広報なごや港区版の制作、ウェブサイトコンテンツの充実、Facebook「いいトコなんよ。（南陽支所）」の運営による効率的な広報）

⑧ 身近で魅力あふれる支所づくり（ロビー展示会開催回数　6 回）

⑨ 緑のカーテン　（南陽支所でゴーヤを栽培　ゴーヤの種配布数 70・苗配布数 25）

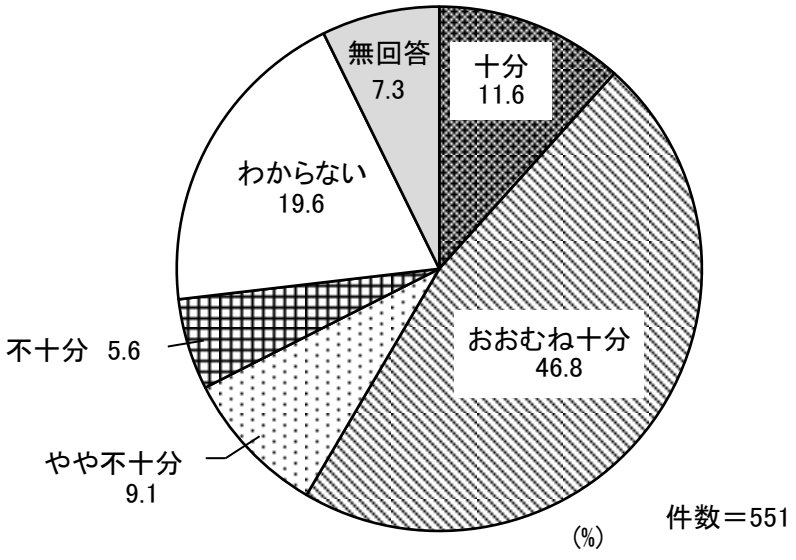
＜外国人に対する窓口サービスの充実＞

⑩ 外国人に対する窓口応対サービスの充実　（ポルトガル通訳職員の配置 対応人数 1,146 件・テレビ電話通訳の実施 対応人数 7 件・AI 通訳機の導入 対応人数 304 件）

＜総合行政の推進＞

⑪ 地域課題解決に向けた連携強化
（警察署・消防署・土木事務所・環境事業所などとの連携強化）

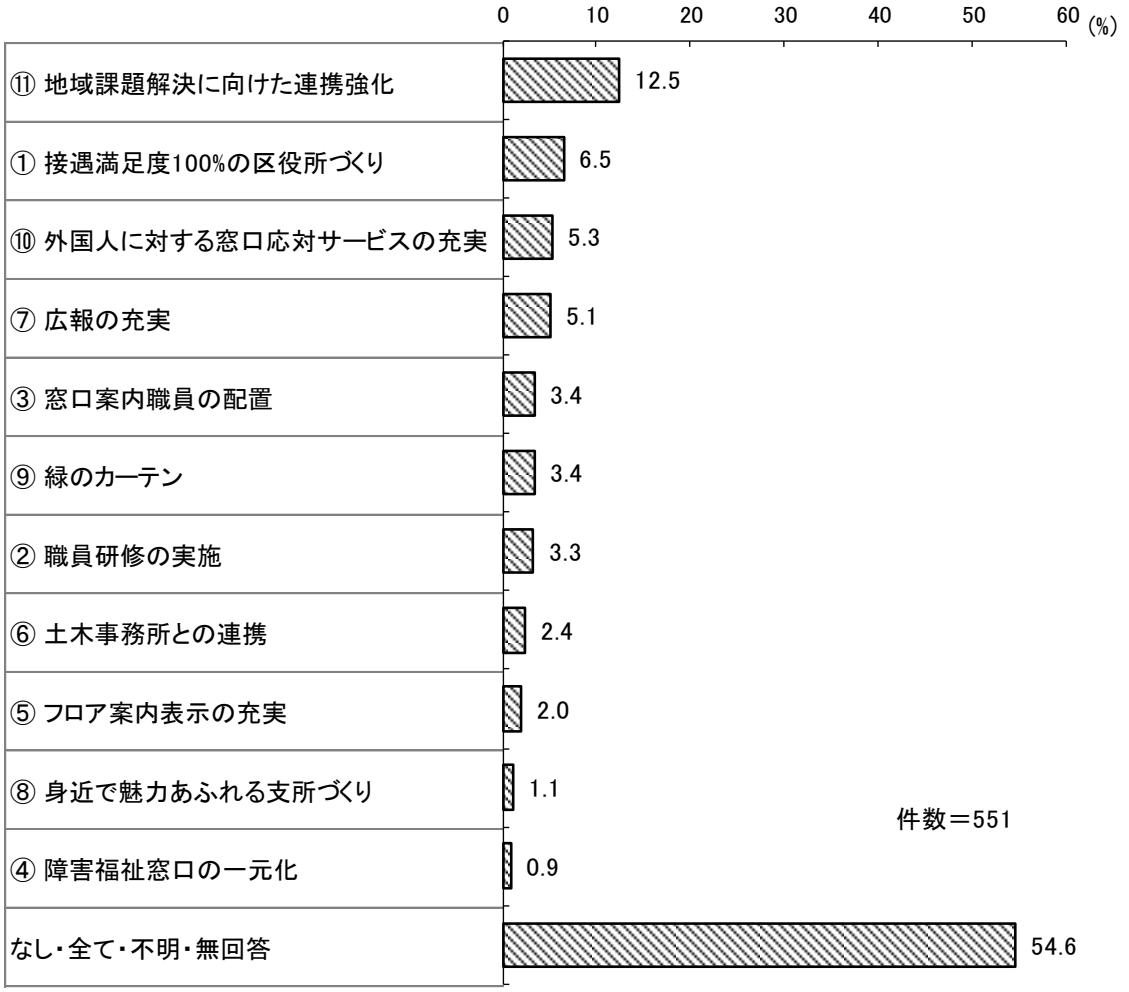
この「取組事項」と「主な実績」をどう思いますか？（該当する番号を○で囲んでください）



３－５－２．さらに力を入れる事業

○　住民に身近な行政サービスづくりについての前記の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業としては、「⑪ 地域課題解決に向けた連携強化」が 12.5％で最も高くなっている。次いで、「① 接遇満足度 100%の区役所づくり」（6.5％）、「⑩ 外国人に対する窓口応対サービスの充実」（5.3％）、「⑦ 広報の充実」（5.1％）が、それぞれ 1 割弱となっている。
また、「なし・不明・無回答」の割合が 54.6％と、半数強を占めている。

前記、①～⑪の事業のうち、さらに力を入れたほうがよい事業の番号（１つ）とその理由をお書きください。



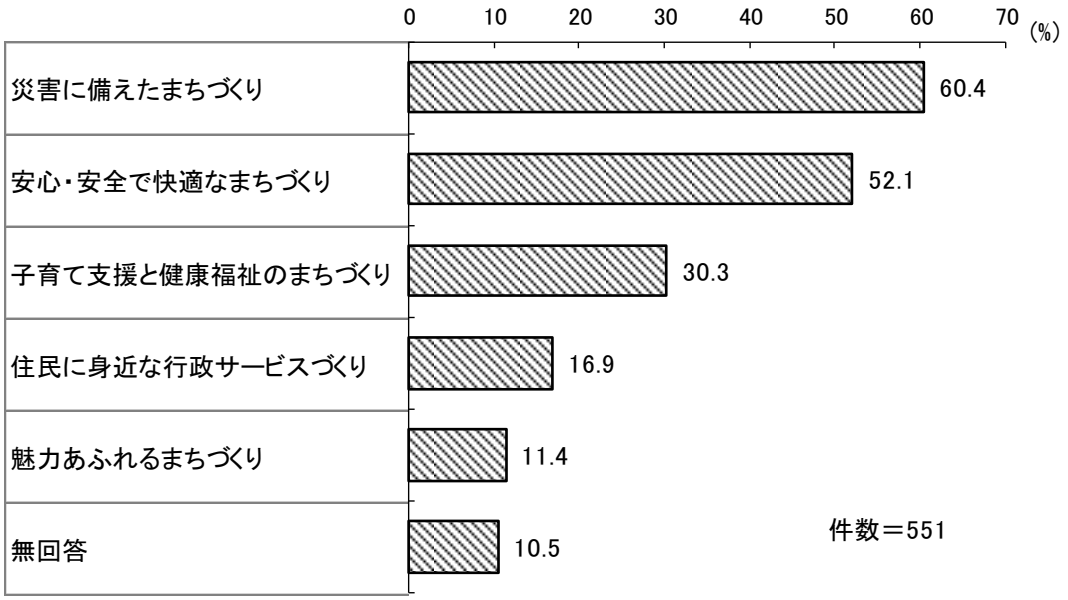
（注：複数回答あり）

４．今後取り組んで欲しい分野

○　今度、港区で重点的に取り組んで欲しい分野としては、「災害に備えたまちづくり」の割合が60.4％と最も多く、次いで「安心・安全で快適なまちづくり」が 52.1％と、それぞれ半数以上の区民があげている。以下、「子育て支援と健康福祉のまちづくり」は 30.3％で、3 割強となっている。

前述の「「取組事項」と「主な実績」の評価」で“充足”の割合が 6 割近くを占めた２分野の割合は、それぞれ 11～17％と比較的低くなっている。

質問４．今後、港区で重点的に取り組んで欲しいと思う分野を、2 つ選んでください。
（該当する番号を○で囲んでください）



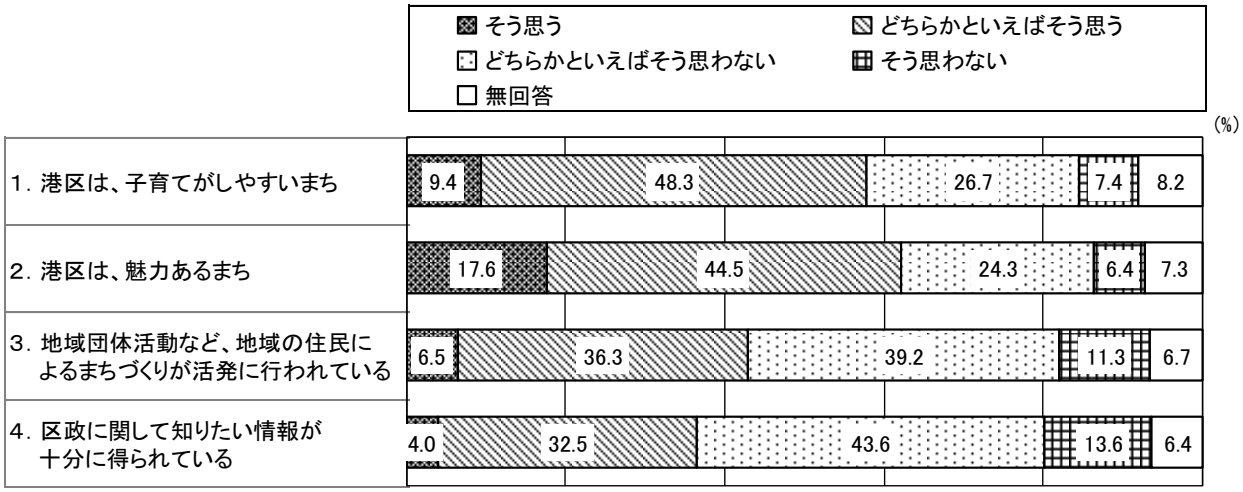
５．港区の現状について

○　港区が「よりよいまち」を目指す上での、港区の現状についての評価としては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的評価の割合は、「２　魅力あるまち」については62.1％と６割以上を占め、「１　子育てがしやすいまち」についても57.7％と６割弱が肯定的に感じている。

一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた否定的評価の割合は、「４　区政に関して知りたい情報が十分に得られている」については57.2％と６割弱、「３　地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われている」についても50.5％と過半数が否定的に感じている。

質問５ 港区が「よりよいまち」を目指す上で、港区の現状にどのように感じているか「４」段階でお答えください。

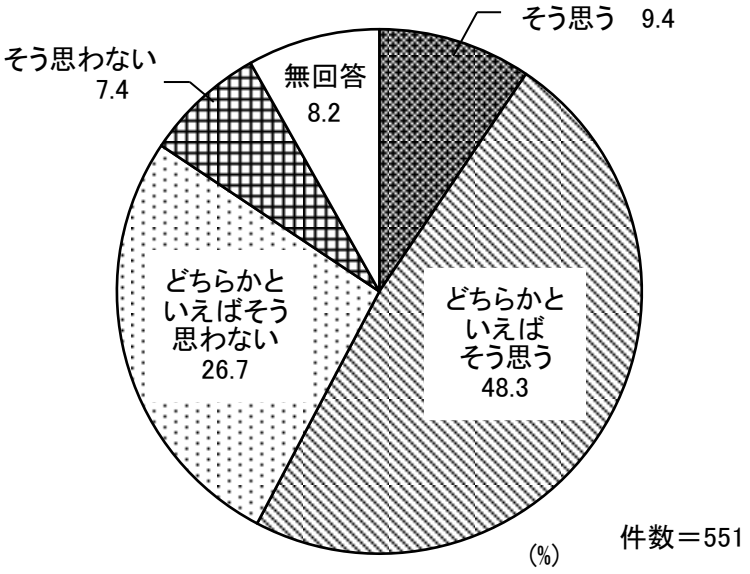
（直接関わりのない事柄についても、日々の生活の中での実感などから、各項目について率直にお答えください。）



５－１．子育てがしやすいまち

○　港区は、子育てがしやすいまちについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかといえばそう思う」が 48.3％と最も高く、ほぼ半数を占め、「そう思う」（9.4％）を合わせて 57.7％と 6 割弱が肯定的に感じている。一方、「どちらかといえばそう思わない」が 26.7％で、「そう思わない」（7.4％）を合わせた 34.1％が否定的に感じている。

１．港区は、子育てがしやすいまちだと思いますか。



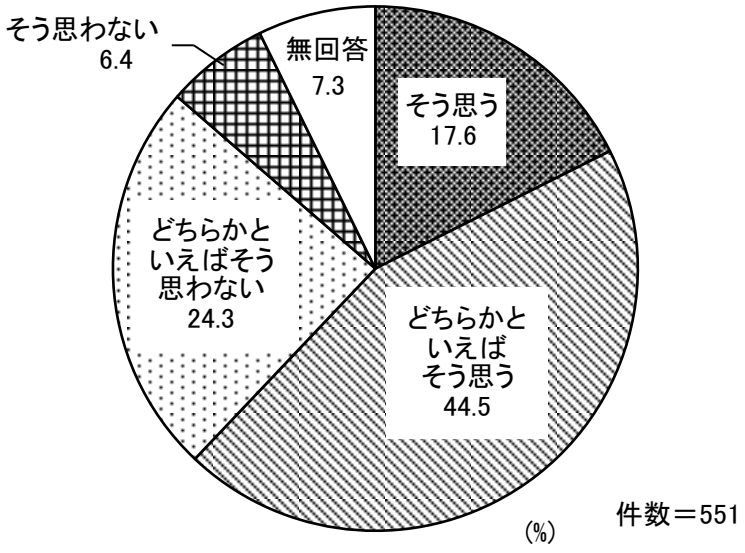
５－２．魅力あるまち

○　港区は、魅力あるまちについて、現状どのように感じているかとしては、「そう思う」が 17.6%、「どちらかといえばそう思う」(44.5%) を合わせて 62.1%と、それぞれ４項目のうち一番高くなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(24.3%) と「そう思わない」(6.4%) を合わせた 30.7%が否定的に感じている。

２．港区は、魅力あるまちだと思いますか。

港区は、総取扱貨物量日本一を誇る名古屋港を擁するとともに、名古屋港水族館、リニア・鉄道館、レゴランドなどの魅力ある施設のほか、荒子川公園、戸田川緑地、藤前干潟、そして市内最大の水田地帯が広がる南陽地域も併せ持つという様々な顔を持っています。

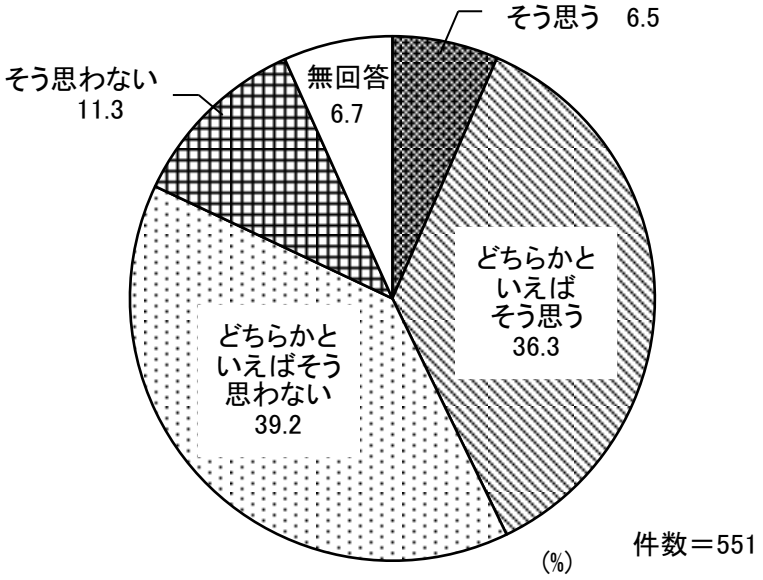
また、港区役所では、アンケート５ページにお示ししたような「魅力あふれるまちづくり」に取り組んでいます。



５－３．地域の住民によるまちづくりが活発に行われている

○　地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われているについて、現状どのように感じているかとしては、「どちらかといえばそう思わない」が 39.2%で最も高く、「そう思わない」（11.3%）を合わせて 50.5%と半数が否定的に感じている。一方、「そう思う」（6.5%）と「どちらかといえばそう思う」（36.3%）を合わせて 42.8%と 4 割強が肯定的に感じている。

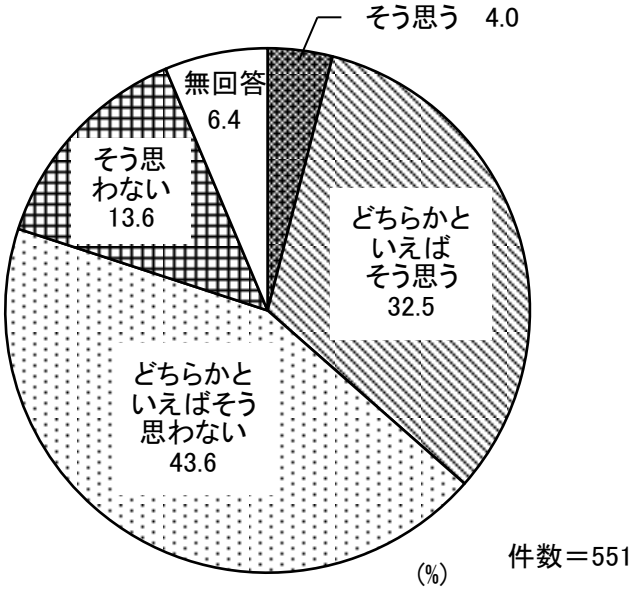
３．地域団体活動など、地域の住民によるまちづくりが活発に行われていると思いますか。



５－４．区政に関して知りたい情報が十分に得られている

○　区政に関して知りたい情報が十分に得られているについて、現状どのように感じているかとしては、「そう思わない」が 13.6%、「どちらかといえばそう思わない」（43.6%）を合わせて 57.2%とそれぞれ４項目のうち一番多く、6 割弱が否定的に感じている。一方、「どちらかといえばそう思う」（32.5%）と「そう思う」（4.0%）を合わせた肯定的に感じている割合は 36.5%となっている。

４．区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思いますか。



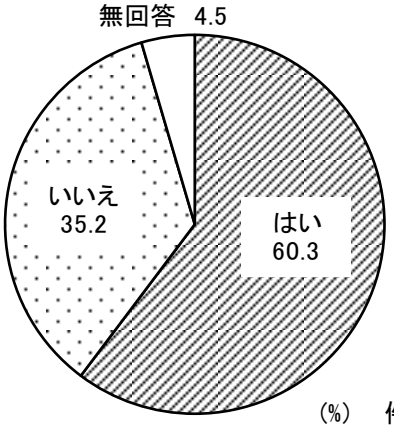
６．自身の取り組みや現状、または施策の認知度について

６－１．家具等の転倒防止対策

○　寝室の家具等（家具の他、テレビなど電化製品を含む）の転倒防止対策を行っているかについては、「はい」の割合は 60.3％と 6 割を占め、「いいえ」の割合は 35.2％で 4 割弱となっている。

質問６ あなた自身の取り組みや現状、または、それぞれの施策の認知度について、次の質問にお答えください。（該当する番号を○で囲んでください。）

１．寝室の家具等（家具の他、テレビなど電化製品を含む）の転倒防止対策を行っていますか。



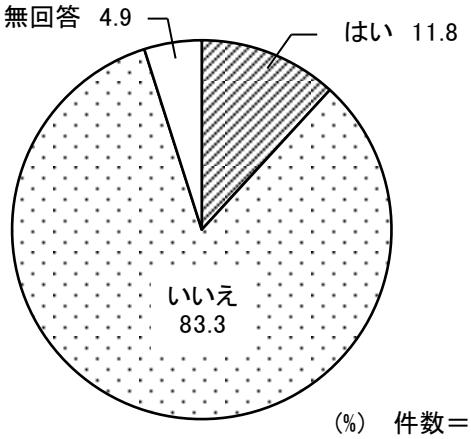
（%）　件数＝551

６－２．「なごやかキャット推進事業」の認知

○　「なごやかキャット推進事業」の認知については、「はい」の割合は 11.8％と低く、「いいえ」の割合が 83.3％と 8 割以上を占めている。

２．「なごやかキャット推進事業（※）」を知っていますか。

※ 地域におけるのら猫による迷惑防止を図る事業

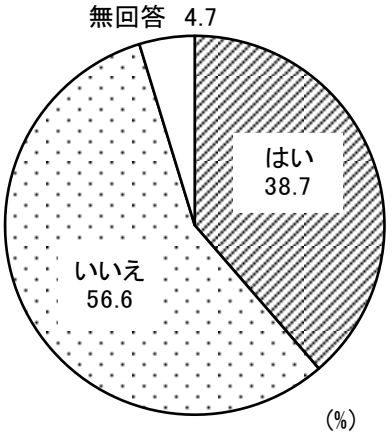


（%）　件数＝551

６－３．児童虐待の相談窓口の認知

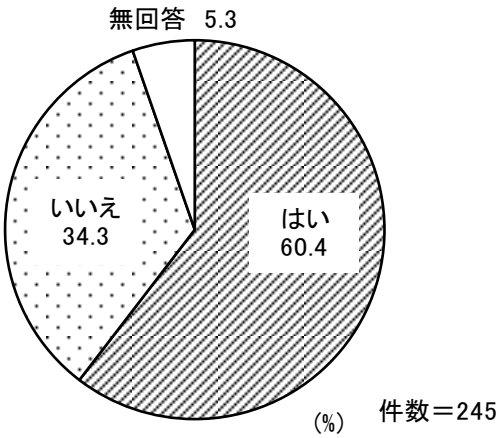
○　児童虐待の相談窓口の認知としては、「はい」の割合は 38.7％と 4 割程であり、「いいえ」の割合が 56.6％と 6 割弱を占めている。

３．児童虐待の相談窓口を知っていますか。



６－４．地域に相談できる人の有無

○　65 歳以上の方の、隣近所や地域において、困ったときに相談できる人がいるかとしては、「はい」の割合は 60.4％と 6 割を占め、「いいえ」の割合は 34.3％で 3 割強となっている。

※６５歳以上の方にお聞きします。

４．隣近所や地域において、困ったときに相談できる人がいますか。